



静岡県教育委員会
教育広報紙

Eジャーナルしずおか

平成26年(2014年)
5月8日
木曜日
第131号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

平成26年度教育行政の基本方針等連絡会議を行いました



左から 斉藤 行雄 委員、溝口 紀子 委員長職務代理者、加藤 文夫 委員長、高橋 尚子 委員、興 直孝 委員

4月2日、県庁にて行われた標記会議では、加藤委員長をはじめ、教育委員の皆さんから話がありました。ここでは、その要旨を紹介します。

加藤文夫委員長 「義務教育の重要性」

教育現場においては連続性・継続性が大事である。これまで、どのような方針の下で行ってきたのか、どのような変遷を経て現在に至っているのか、よく制度や組織を研究した上で、制度改革に取り組んでいただきたい。

義務教育は基礎的なことを教えるが故に汎用性がある。社会人になっても義務教育で培った基礎力があれば、もう一度学び直して、社会の変遷に合わせた自分をつくることできる。その意味で、義務教育はきわめて重要である。

県教育委員会事務局は、多くの人が入れ替わった。組織の和を重んじていただきたい。新しい人これまでに付かぬ人とよく話し合っ、お互いが納得する形で解決策を見出して、いような運営を心掛けていただきたい。

溝口紀子委員長職務代理者 「「見せる」「発言する」「傾聴する」」

学力問題に関してはスピード感を持って対応し、県民の皆様への期待に応えてほしい。

組織の自浄能力をどう高めるかが大切。日光東照宮の「見ざる」「言わざる」「聞かざる」を御存知かと思うが、その反対の「見せる」「発言する」「傾聴する」ことが組織の自浄能力を高める方法ではないか。この三つを意識しながらスピード感を持って様々な課題に対応していただきたい。

高橋尚子委員 「変わらないものを見極める」

教育は人が変わろうが、体制が変わろうが、子どもたちにとって変えてはいけないものをきちんと見極めて、子どもたちのために自分の信念を貫き通すことが大切。子どもたちはすぐに足付かないと思う。10年、20年経って気が付くかもしれないが、それが教育というものではないか。変わらないものを見極めて、今年もよろしく願いたい。

斉藤行雄委員 「先生方が自信と誇りを持って子どもと接することができるように」

様々な問題を解決するためには教育委員会だけではなく、横の連携が大切である。横の連携なくして教育を変えることはできない。

その中で一番大切なのは、先生方が元気でいること、先生方が自信と誇りを持って子どもと接していただくことであり、それが様々な問題を解決する原点である。先生方がどうしたら元気になるかを考えてほしい。

興直孝委員 「教育に携わることができると幸せ」

教育に携わることができる皆さんは幸せである。皆さんの幸せが、県民の、国民の幸せにつながるように活動してほしい。

教育に関わる全ての方々が、静岡県、あるいは、日本、あるいは世界という観点から、どのような人材が必要なのかということを常に視野に入れていただきたい。それにはどんな問題があるかを積極的に洗い出して、自分たちでできることは何かということを顕在化させていただきたい。

4月8日に286人の



生徒代表の言葉

住の井口やすひささんに
清流館高校
立清流館高等学校と県立
天竜高等学校及び同校春
野校舎が開校しました。
両校の開校記念式典の様
子などをお伝えします。

希望に満ちた新しい 高等学校が開校しました



立清流館高等学校と県立天竜高等学校及び同校春野校舎が開校しました。

平成26年4月1日、県立清流館高等学校と県立天竜高等学校及び同校春野校舎が開校しました。両校の開校記念式典を行いました。開式を告げる高らかな声に続いて、赤塚校長が「清流館高校を皆さんが愛してください。すばらしい学校になるよう教職員、生徒とともに取り組みます」と式辞を述べ、華やかな雰囲気の中、式は始まりました。安倍県教育長の挨拶に続き、命名した元吉田高校教員の大石正晴さんと、校章をデザインした群馬県在住の井口やすひささんに

感謝状が送られ、新しい校旗が披露されました。校歌の作詞者である歌人の覚和歌子さんから、校歌に込めた想いと共に学校生活へのエールを送っていただきました。作曲者の渡辺俊幸さんからは、自身の高校生活に重ねた曲への思いが語られました。その後、全校生徒がこの日までに練習してきた校歌がホールに響き渡りました。

4月7日、合同の開校記念式典が天竜高校の体育館で行われました。式典には、在校生、学校関係者らが出席し、新高校の誕生を祝福しました。新しい高校の特色は、「高い志を抱き、自ら主体的に学び、自己実現に向けて粘り強く努力できる人材を育成する」という教育目標のもと、農業(林業)、科、総合学科、普通科が、学科間及び二つの校舎間の連携を図りながら一人一人の生徒の多様な進路希望に対応できる教育環境を整えていることです。



校歌の披露

開校式では、三科校長が「学校が開校するまでに御尽力いただいた方々に感謝するとともに、新しい学校の真つ白な歴史のページに一つ一つ年輪を刻んでほしい」という式辞を述べ、生徒代表が「勉強や部活動に励み新しい天竜高校の伝統を築いていく」と力強く抱負を語ってくれました。また、開校式では、新しい校章、校旗、そして、校歌も披露されました。

天竜高校
天竜高校春野校舎
天竜高校
天竜高校春野校舎

社会総がかりで、子どもたちをいじめから守ります
「静岡県いじめの防止等のための基本的な方針」を策定しました

「静岡県いじめの防止等のための基本的な方針」の概要

- 第1 いじめの防止等の基本的な考え方
1 いじめの定義
2 いじめの理解
3 基本的な考え方
- 第2 いじめの防止等のための対策
1 県-県教育委員会
ア 静岡県いじめ問題対策連絡協議会の設置
イ 静岡県いじめ問題対策本部の設置
ウ いじめの防止等に係る学校への支援
- 2 県立学校、私立学校
ア 学校いじめ防止基本方針の策定
イ いじめ防止の中核となる組織の設置
ウ いじめの防止等のための対策
- 3 知事
ア 県立学校、私立学校における重大事態の発生、調査結果について教育委員会、学校法人から報告を受けること
イ 調査結果について調査を行うことができること

本県の取組
いじめの問題の克服に
向けて、本県では、一昨年度より、静岡県・市町教育委員会代表者会から発信された「静岡県立の学校からいじめをなくす」提言をもとに、オール静岡で取り組んできました。昨年度には、いじめ防止対策推進法に基づいて国が策定した「いじめの防止等のための基本的な方針」を踏まえ、関係諸機関との連携のもと「静岡県いじめの防止等のための基本的な方針」を策定しました。本基本方針の策定により、県内の各学校はもとより、社会全体におけるいじめの防止対策を充実させ、社会総がかりで子どもたちをいじめの問題から守りましょう。

各学校等の取組
各学校等においては、県の基本的な方針や「いじめ対応マニュアル」などを参考にしながら、実情に応じた、より実効性のある基本的な方針を策定し、いじめ防止の中核的な役割を担う組織を設置することを心がけます。

た意識を持ち、それぞれの役割と責任を自覚しなければなりません。また、本県の基本的な方針と学校では、いじめが起きにくい、互いを認め合える、よりよい人間関係や学風を創り出し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に取り組むことを掲げました。この方針を踏まえ、基本的な考え方や組織的な対応、重大事態への対処等に関する内容や運用についてまとめました。

「いじめは絶対に許さない」
「いじめは、どのような理由があろうとも、許されない行為である」
このことは誰もが分かっているにもかかわらず、未だにいじめを背景として、子どもの生命や心身に危険が生じる重大な事実が、後を絶ちません。
いじめから子どもを守るためには、周りの大人が「いじめは絶対に許さない」、「いじめは卑怯な行為である」、「いじめはどの子どもにも、どこでも起こりうる」といつ

実践NOTE 201

実践！「新しい授業の創造」

「わかる授業」の実践を通して

浜松西高等学校中等部 教諭 大石 尚代



筆者

前任の袋井市立浅羽中学校での実践を紹介し

授業参観 必須アイテム「付箋」

「わかる授業」研修会の中心は授業です。授業者は変容を追ってほしい。生徒を事前抽出します。教師の繰り出す「しかけ」に対して生徒がどのような「しかけ」を返すのか、他の生徒との関わりの中で生徒が何をどのように考えるのか、生徒の表れを参観した教師は聞き逃さず付箋に記録していきます。これらの膨大な記録が授業の振り返りに大きな役割を果たします。



個の変容を丁寧に追う鹿毛教授

参観した教師全員で行う授業の振り返りは、生徒の学びの道筋をたどり授業全体を振り返る場です。ここで付箋にメモした授業記録が生かされます。



授業の振り返りで熱い意見交換

案していたいただきました。特に印象深かった指導は①「わかる」充実感を大切に、自分の内面を外に出す活動を設定する。②授業の「しかけ」を大切に、どのタイミングでどのように提示するか。③プロセスを大切に、授業の中で何をどう考えたかという過程を評価できる教師を目指す。④3点です。袋井市の提唱する「わかる授業」実践の視点が一層明確になりました。

「新しい授業の創造」実践から進化へ
生徒の主体的な学びを促すために、教師が生徒のつづやきを吟味し、取り上げ、価値付けていく「わかる授業」の実践を通して、「教育的瞬間を見逃さないこと」、「生徒一人一人を丁寧に取る」との大切さを全員で共有し、授業の工夫・改善・実践につながる実りのある校内研修が展開されました。今後も魅力ある学校づくり、新しい授業の創造につながる研修を推進していきます。

鹿毛教授からの指導
「一人一人の学びを見る」ことで、「授業を観る」ことの楽しさを感じる。とができました。「授業研修に参加した先生方の感想です。鹿毛教授には教育心理学という専門的な視点から課題を整理・提



多彩な「しかけ」を準備した授業



ゲストティーチャーとのチームティーチングの授業

実践NOTE 202

地域とつながる！

沼津特別支援学校愛鷹分校 教諭 鈴木 隆臣



筆者(右)

開いていきます。

地域の店舗で販売

ポーチや袋物の布製品は、地域の店舗や幼稚園等で販売します。ケーキ店や美容院等、複数の店舗で販売スペースを設置していただきました。近隣店舗の在庫管理は生徒自身が、商品が不足した場合は、店舗に向いて補充します。また、交流の幼稚園で販売したものは、園児が日々使ってくれています。



ケーキ店へポーチを納品しました



作った野菜をレストランに納品しました

店舗に向いて担当者や打ち合わせを行い、デザインやレイアウトを考え、確認・修正を経て納品します。担当者とのやり取りをおしてコミュニケーション力が高まります。

異なる学年の子もたちが、共同生活を送りながら学校へ通う、通学合宿。今年度は事業開始から10年目となる節目の年です。多くの地区で実施されるよう、様々な支援を用意しています。子どもたちが自分たちの力で共同生活すること、他人を思いやる気持ちや自立心が養われます。また、合宿の企画・運営を地域の大人が協力して行うことで、地域の絆づくりにつながります。日常の一面を切り取り、みんなで一緒に経験することで、子どもたちは大きく成長します。さらに、防災教育を取り入れれば、災害に強い地域づくりの場として、通学合宿を活用することもできます。

飲食店の開店準備、老人ホームでの介護補助・清掃などの様々な業務を行います。普段の学校生活では味わうことができない貴重な体験となります。2年間でも多様な職種を体験し、2、3年の現場実習や卒業後の進路決定につなげていきます。

平成26年2月、当校から徒歩10分の場所に、コミュニティの拠点となる「門池地区センター」が開所しました。この施設でも体験学習をさせていただけることになりました。他にも新たに障害者就労支援事業所の請負先企業（製造業）や家電量販店にも協力していただくことになっています。

地域の方々から直接指導や評価をしていただくことで、生徒の意欲が高まり働くことの責任と喜びを感じることができま

ここでは、職業教育の中心的な授業である「作業学習」と共生に欠かせない「地域」との連携について1年間の実践を紹介いたします。

「地域」のつながり
「地域」のつながり
「地域」のつながり

「地域」のつながり
「地域」のつながり
「地域」のつながり

「地域」のつながり
「地域」のつながり
「地域」のつながり

作業学習は、ものづくり(布製品の製作と野菜の栽培)と地域での実践的な体験実習及び印刷物の企画・製作を取り入れ、就労に必要な力を身に付けていきます。

地域の事業所で働く
体験実習は、グループ毎にホテルでの環境整備



ホテルの客室業務も行いました



地域の店舗とちし作成の打合せ

「地域」のつながり
「地域」のつながり
「地域」のつながり

心に響く 中学生のメッセージ

「わたしの主張2014」作品募集



自分の思いを熱く語る勝又さん

「誰か」に必要とされることよりもまず、「自分が」自分を必要としなければならぬのです。

10代の私たちには、まだまだたくさんさんの時間と未来があります。

私は、人との衝突や自分との葛藤を乗り越えながら、青年期の仕事をこなしていこうと思います。

これは、昨年行われた「わたしの主張2013」で最優秀賞を受賞した勝又彩さんの言葉です。現代の若者たちへの前向きなメッセージに、会場全体は明るく温かな雰囲気包まれました。

今年も、日常生活で感じたことや未来への希望などを発表する「わたしの主張2014」を、8月20日(水)に伊豆の国市の葦山文化センター(葦山時代劇場大ホール)で開催します。

作品募集

この「わたしの主張」は、11月に東京で開催される「少年の主張全国大会」へつながる大会で、開催

市町の中学生や地元関係者等、多くの方たちに参加していただき、盛大に開催されています。

皆さんの発表を前に、自分の考えを発表することは、中学生にとって、また新たな成長のチャンスです。

作品募集

是非この機会に、たくさん作品応募をお願いいたします。



多くの方が参加し盛大に開催されました(昨年の様子)

例) ボランティア活動 / 国際交流 / 環境問題 / 学校生活 / 家庭生活 / 自己啓発に関すること等
※応募資格、応募原稿等の詳細は各中学校に配付した原稿募集要領を御覧ください。

自然生活体験事業 参加者募集!

県立青少年教育施設を会場に、心身ともにたくましい子どもたちを育成します。

朝霧高原 サマーキャンプ

◇内容 川遊び、カヌー、マウンテンバイク、富士山原生林ハイキング、キャンプファイヤーなど
◇とき 8月6日(水)～14日(木)

◇対象 小5～中3 (定員42人)

◇参加費 3万9千円
◇申込締切 5月23日(金)
★朝霧野外活動センター



仲間と雄大な自然の中で

◇対象 小5～中1 (定員70人)
◇参加費 1万8千円程度
◇申込締切 6月6日(金)
★焼津青少年の家
〒425-0041
焼津市石津2259-408
☎054(624)4675

◇対象 小5～中1 (定員70人)
◇参加費 1万8千円程度
◇申込締切 6月6日(金)
★焼津青少年の家
〒425-0041
焼津市石津2259-408
☎054(624)4675



きらきらと光る海でカヌー

◇内容 カヌー、ハイキング
◇対象 小5～中3 (定員42人)
◇参加費 3万9千円
◇申込締切 5月23日(金)
★朝霧野外活動センター

チャレンジスクール 2014夏

冒険王国in観音山



観音山は感動山。様々な体験を

◇内容 ロングハイキング、川遊び、野外炊事、星空観察、山頂アタック、キャンプファイヤーなど
◇とき 8月7日(木)～12日(火)

◇対象 小5～6 (定員80人)
◇参加費 2万2千円
◇申込締切 5月23日(金)
★観音山少年自然の家

◇内容 浜名湖サイクリング、スライカ割り、着衣泳
◇対象 小5～6 (定員80人)
◇参加費 2万2千円
◇申込締切 5月23日(金)
★観音山少年自然の家

浜名湖いきいき 発見の里



最高の仲間と最高の夏休み

◇対象 小5～6 (定員80人)
◇参加費 2万2千円
◇申込締切 5月23日(金)
★観音山少年自然の家

◇内容 浜名湖サイクリング、スライカ割り、着衣泳
◇対象 小5～6 (定員80人)
◇参加費 2万2千円
◇申込締切 5月23日(金)
★観音山少年自然の家

あなたの掛けた一言が 子どもたちを支えます!

地域の青少年声掛け運動

この運動は、地域の子どもたちに周りの大人の声も温かなまなざしで声を掛け、積極的に関わることにより、子どもたちの健やかな成長を支援していこうという県民参加型の運動です。

誰もが褒められたり励まされるのは嬉しい。周りの大人が、挨拶や声掛けを行う地域土壤があると、そのことが青少年の心のよりどころになり、健全育成の大きなサポーターになります。

声掛け運動に参加しましょう!
教職員の皆様もぜひ積極的に参加いただくと

声掛け運動に参加しましょう!
教職員の皆様もぜひ積極的に参加いただくと

気軽にスポーツに親しまおう!

本年度もスポーツ・レクリエーション活動の祭典「第21回県民スポーツ・レクリエーション祭」が県内各地で開催されています。

二ユーススポーツふれあいフェスタ
幼児から高齢者まで、誰でも気軽に取り組むことのできる、二ユースポーツ種目別体験コーナーを数多く設置します。
【春】5月25日(日)

二ユーススポーツふれあいフェスタ
幼児から高齢者まで、誰でも気軽に取り組むことのできる、二ユースポーツ種目別体験コーナーを数多く設置します。
【春】5月25日(日)

もに、PTA等を通じて保護者や地域の方々にも参加を呼び掛け、学校家庭、地域が一体となって子どもたちを守り育てていきたいと思います。

詳しくは、各市町教育委員会青少年担当課または県教育委員会社会教育課(054-221-3313)へお問い合わせください。



声掛け運動アンバサダー 藤田弓子さん(中央)

YouTube「声掛け運動」検索



二ユーススポーツ体験コーナーの様子(種目:チャレンジ・ザ・ラン)

総合教育センター
あひなngle
キャリア教育
実践の手掛かり
まずは一つ一つの
教育活動の見直しから

平成25年度、センターは県内の学校にキャリア教育の実践を依頼しました。以下の3校は、児童生徒の社会的・職業的自立のために必要な能力や態度の育成という視点で、教育活動を再構成することから始めました。

育てたい力を共有する
掛川市立桜木小学校は、全学年でそれぞれが設定した育てたい力に基づき、教育計画を見直しました。3年生では、お茶について学ぶ活動における育てたい力を、仲間と協力し合う態度とし、意図的な活動面を多く取り入れました。



協力してアンケートを読み取る3年生

校内でお茶に関する調査を行い、グラフを用いて結果をまとめる中で、分担して作り上げる大切さを実感している児童の様子が、数多くの場面で見られました。

生徒による活動の振り返り
【総合支援課 進路指導担当】

藤枝市立青島北中学校では、生徒の将来に向けて育てたい力を「連携調整する力」とし、清掃強化週間に関連付けました。2年生では、学年集会や学級での話し合い活動を通じて、「連携調整する力」について4段階の評価基準を設け、活動前後に生徒自身による自己評価を取り入れたことで、自分の取組を振り返り、更に工夫しようとする姿勢が見られました。

中核となる活動の広がり
県立御殿場南高校では、1年生の「企業・職業研究」におけるインターンシップなどを中核とした体験活動を再構成し、外部講師による講演や、体験活動に向けて個々の目標をグループで話し合う場面を事前学習として設定しました。また、事後学習で発表会を実施したことで、生徒は体験活動が日々の学びと大きく関係していることに気付くことができました。

「日中青年代表交流」参加者募集

県教育委員会では、友好提携関係にある中国浙江省との経済、産業、教育、行政など各分野の交流の促進を担う人材を育成することを目的として、青年交流事業を実施しています。

浙江省の青年だけでなく、県内の異業種の青年との人脈を築き、活躍の場を広げる機会として、参加してみませんか？

◇内容

- 交流(2回)
 - ・浙江省交流(中国浙江省、上海市訪問) 8月15日～22日
 - ・静岡県交流(県内での受入) 10月(予定)
- 事前・事後セミナー(4回) 7月～12月の土曜日
 - 渡航ガイダンスや中国事情を学ぶ講座等を行います。

◇対象 中国に関心のある20歳から既婚35歳までの方で、原則ホームステイ(1泊2日)の受入が可能なお子
※本交流参加教員は、10年経験者研修の「社会体験研修」が免除されます。



(左)グループ別研修で訪問した浙江省の小学校にて
(右)浙江省の青年宅でのホームステイの様子

◇定員 30人 ◇費用 15万円 ◇締切 6月9日(月)
問 社会教育課 054(221)3312
HP 静岡県 日中青年代表交流 検索 【社会教育課】

新設小・中・高等学校の
特別支援教育に生かせる研修

通常の学級にも、特別な教育的支援を必要とする児童生徒は6.5%に達していると言われております。子ども理解とユニバーサルデザインの実践づくり等を学び、授業改善に生かしましょう。



新規研修

- ①7/17(木)「特別支援教育研修-発達障害の理解と支援—
—教育と医学の連携の視点から—」
【講師】静岡てんかん・神経医療センター
臨床心理士 杉山 修 氏
- ②8/11(月)「特別支援教育研修-認知特性に配慮した学習指導—
—学習につまずきのある子どもの理解と支援—」
【講師】常葉大学 助教 赤塚 めぐみ 氏
- ③9/3(水)「特別支援教育研修-授業づくりⅢ—
—ユニバーサルデザインの考え方を生かした授業—」
【講師】明星大学人文学部 教授 小貫 悟 氏
- ④12/16(火)「特別支援教育研修-特別支援学級の教育課程」
(三島会場)
【講師】常葉大学 教授 橋田 憲司 氏
- ⑤2/4(水)「特別支援教育研修-特別支援学級の授業づくり」
(特別支援学級担任による授業実践紹介)
※①～③は幼稚園・小学校・中学校・高等学校 特別支援学校教
職員対象、④⑤は小学校・中学校教職員対象となります。
詳しくは、「平成26年度 研修ガイドブック」を御覧ください。
問 総合教育センター 専門支援課特別支援班
0537(24)9755

「エンジョイ家族」参加者募集中
～未来に向かってごき出そう～

「イチ・ニョー・ソレ」「イチ・ニョー・ソレ」風薫る焼津の海で、カヌーをこいだり、釣りをしたり、家族で楽しい時間を過ごしてみませんか。レクリエーションやエンジョイパーティー、美味しい食事も用意しています。

- 日時 6月14日(土)～15日(日) (1泊2日)
- 対象 家族・親子(17家族)
- 参加費(予定)
 - 小学生以上 4,000円
 - 3歳以上 3,000円
 - 3歳未満 1,300円
- ※別途選択活動費が必要な場合があります。
- 申込み締切 5月24日(土) 午後5時まで
問・申 静岡県立焼津青少年の家 054(624)4675



家族で素敵な思い出を作ろう

県立中央図書館
健康医療
情報コーナー
活用のススメ

県立中央図書館の閲覧室には「健康医療情報コーナー」があります。このコーナーでは、自分の健康や身体について自ら調べられるように、情報を発信しています。

☆特集展示
1、2か月に一度、「花粉症」乳がん」などといった、多くの方が気になる健康のテーマに沿った展示を行っています。5月は健康診断に関する展示を行っています。

☆新聞切り抜きコーナー
病気や健康に関する旬なニュースを新聞記事で紹介し、合わせて関連の所蔵資料も展示します。また、過去にこのコーナーで紹介した新聞記事のバックナンバーも調べることができます。

☆健康医療関係雑誌
当館が受け入れている健康医療関係の雑誌(過去一年ほど)を置いてあります。介護関係の雑誌を並べた棚もあります。

☆医療系辞書・事典
聞き慣れない病気の名前や、病院で処方された薬についての概要を調べる事ができる医学用語辞典や医薬品事典などを集めました。さらに詳しく調べたい時には、閲覧室内の分類番号490.499.9の棚も役立ちます。

☆がん関連図書
身体の部位別に大別してがんの関連図書をまとめた棚があります。

がん1(がん一般) / がん2(血液・循環器のがん) / がん3(呼吸器のがん) / がん4(消化器のがん) / がん5(泌尿器のがん) / がん6(婦人科系のがん)

☆患者会資料
県内の主な患者会の会報を見ることが出来ます。

☆病気や病院に関するパンフレット類
当館で作成したがん関連のパンフレットのほか、厚生労働省や静岡県の発行しているチラシなどがあります。主な総合病院の案内や医療機関のパンフレットもあり、持ち帰りができるものも多く揃えています。

☆当館で扱っている資料は、医学的な根拠(エビデンス)に基づくものです。図書館の資料や情報は日々変わっていく医療情報に過ぎません。医療関係者との相談をより円滑に行う材料として御利用ください。

EDITOR

◆1面は5月4日に印刷された高校の校報のページです。新しい校報が、新しい仲間とともに、夢と希望を掲げて、新しい一歩を踏み出しています。今年も、3年間の大切な日々を、今年も、大切に過ごしてください。今年も、5月5日の大型連休も、ぜひ、心も体も健康に過ごしてください。

【中央図書館企画振興課】

健康医療情報コーナー

物の情報を伝えたい

あんぜん・あんしん自転車
静岡県キャンペーン
実施中 平成26年5月31日(土)まで

組合加盟店では「あんぜん・あんしん自転車キャンペーン」による保険つき点検整備を行っています。この看板のある自転車安全整備店に「TSマーク点検」とご依頼ください(有料)。

赤色TSマーク 付帯保険の補償内容

- 賠償責任保険 死亡・重度後遺障害【1～7級】(保険料)2,000万円
- 傷害保険 入院15日以上 (一 10万円 死亡・重度後遺障害【1～4級】(一 100万円)

(TSマーク取扱店はスマートフォンで検索できます。まずは組合ホームページへ。)

実施機関 静岡県自転車軽自動車商業協同組合
静岡市葵区常盤町1-4-11 TEL 054-252-7785 FAX054-252-9129 www4.tokai.or.jp/siz-jitensya/

自転車を安全に安心して利用するために
自転車整備のチェックポイント

広告

ハンドルにガタつきはないか？
ペダルにガタつきはないか？
チェーンの運びは適切か？
ブレーキは効くか？
ライトは適切に照射しているか？
タイヤの空気圧は適正か？
スタンドは付いているか？
反射板は付いているか？
ヘルメットはちゃんと着用しているか？
サドルはガタつきなく固定しているか？
ベルはちゃんと鳴るか？
鏡は付いているか？
安心のためにツーロック